

## 大会運営規定

- 1 球場の開門は第1日目は午前7：30、第2日目は午前8：00とする。
- 2 各チームは試合開始30分前までに集合すること。
- 3 ベンチは組合せの若番を一塁側とする。
- 4 試合中ベンチに入ることのできる人員を次の通り制限する。  
責任者、監督、コーチ、選手、マネージャー、スコアラーの計26名以内とする。
- 5 大会運営上、試合前のシートノックを行わない。
- 6 試合前の球場内でのフリーバッティングは認めない。  
トスバッティングなどは相手チームの練習に支障のない範囲で内野のファウルグラウンドで行うこと。但し、天然芝上では行わないこと。
- 7 バットリング・マスコットバットは使用しない。
- 8 試合回数は全試合トーナメント方式7回戦とし、5回以降、得点差、降雨、日没のコールドゲームを適用する。また、1・2回戦は3回以降10点差のコールドゲームも適用する。
- 9 試合は、決勝戦を除き、90分を過ぎて新しいイニングに入らないものとする。
- 10 規定のイニングを終了、または、時間切れ同点の場合はタイブレイク制を適用する。  
{\*タイブレイク制}  
継続打順の無死一二塁とする。したがって、前回の最終打者を一塁走者とし、順次前の打者とする。
- 11 投手の投球制限に関する事項を以下のとおり定める。
  - (1) 同一日における投手の投球数を70球までとする。
  - (2) 投球中に70球に達した場合は、その打者の完了までとする。
- 12 大会使用球は、全日本軟式野球連盟公認球J号とする。
- 13 メンバー表は6部提出し、前の試合の3回終了後、または、試合開始60分後、大会本部にて交換する。
- 14 打者、次打者、走者及びベースコーチは両耳つきヘルメットを、また捕手は捕手用ヘルメット・プロテクター・レグガード、ファウルカップを必ず着用すること。
- 15 上記及び金属バット、捕手用マスクはスロートガード付き公認マーク入のものを使用すること。
- 16 出場選手及び監督、コーチはユニフォーム（背番号0番から99番までとし、監督30番、コーチ29番、28番、主将10番とする）を着用すること。
- 17 試合は、無駄な時間を省きスピーディーに行うこと。
- 18 本規定に定めていない事項、明確でない事項は、公益財団法人全日本軟式野球連盟の定める規定・規則による。